

表 二宮考古館の夏休み体験教室

No.	教室名	日時	内容	参加費	定員	対象
1	まが玉づくり	8月10日 13:30~15:30	古墳時代に主に作られたアクセサリーを簡単に楽しめる方法でつくります	50円 (1人)	20人 (抽選)	小学生以上 (小学4年生以下は保護者同伴)
2	アンギンでコースターづくり	8月15日 13:30~15:30	縄文時代の編布(アンギン)でコースター等をつくります	20円 (1人)	15人 (抽選)	小学生以上 (小学4年生以下は保護者同伴)
3	土器!ドキ! 図鑑づくり	8月17日 13:30~15:30	市内の遺跡から出土した縄文土器の拓本をとり、台紙に貼って図鑑をつくります	100円 (1人)	15人 (抽選)	小学生以上 (小学生は保護者同伴)
4	まが玉づくり	8月24日 13:30~15:30	古墳時代に主に作られたアクセサリーを簡単に楽しめる方法でつくります	50円 (1人)	20人 (抽選)	小学生以上 (小学4年生以下は保護者同伴)

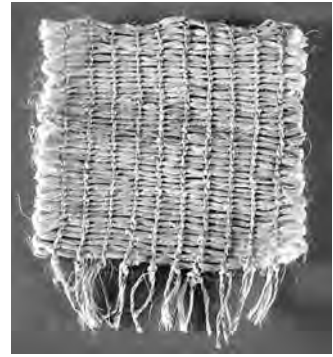
二宮考古館
夏休み体験教室

夏休みの自由研究にもってこの教室です。お見逃しなく! 複数の講座に申し込みできますが、「まが玉づくり」は両日の申し込みはできません。講師 文化財係職員

申し込み方法 8月2日(金)必着)までに、往復はがきに参加希望の番号、住所、氏名(参加者全員)、年齢、電話番号を記入して送付してください(返信用表面にも返信先を記入)。

この教室は「電子申請」でも申し込みできますのでご利用ください。携帯電話からの申し込みは下のQRコードをご利用ください。

申込み・問合せ 二宮考古館



(〒197-0814 二宮01151-559・840)



東京多摩国体
〈スポーツ祭東京2013〉

~本大会に向けた準備が進んでいます~

東京多摩国体 スポーツ祭東京2013 の開催まで、残り80日を切りました。東京都での開催は54年ぶり3回目となり、多摩、島しょ地域を中心に都内全域でさまざまな競技が繰り広げられます。市内では、ソフトボール競技(少年女子)が9月29日から10月1日まで、自転車競技(ロード・レース)が9月29日、馬術競技(全種別)が10月3日から7日まで行われます。

「おもてなしの心」を全国に

全国から訪れる皆さんを温かく迎えるための準備を進めています。

のぼり旗の掲出 東京多摩国体のロゴと競技種目を印字したのぼり旗を、関係各所の協力をいただいで市内全域に掲出し、大会開催気運の醸成を図っています。

応援旗の制作 市内の幼稚園、保育園、小・中学校に依頼し、手書きの応援メッセージを添えた旗を制作します。ユニークな発想を生かした旗が、競技会場から全国に元気を届けます。

花いっぱい運動 競技会場などを美しく飾るため、市内の幼稚園、保育園、小・中学校、あきる野市商店会連合会、あきる野青年会議所などに協力いただき、種から花の育成を行っています。また、町内会・自治会にも協力をいただき、設置している花壇などに応援メッセージを掲示します。9月には、皆さんの思いがこもったたくさんの花やメッセージが市内各所を飾り、訪れる人を迎えます。



軍道紙の表彰状が授与されます

国民体育大会では37の正式競技が都道府県対抗で競われ、全競技の総合成績により、男女総合成績第1位と女子総合成績第1位の都道府県に、それぞれ天皇杯と皇后杯が授与されます。

また、今回の国体で授与される表彰状には、市内の軍道地区で江戸時代初期から明治にかけて盛んに製造され、東京都の無形文化財に指定されている手漉き和紙の「軍道紙」が使用されます。

現在、軍道紙は都内で唯一「ふるさと工房五日市」で漉かれ、軍道紙保存会が伝統文化を後世につなぐ活動を続けています。工房では合わせて1500枚以上の紙漉き作業を終え、大会で軍道紙の表彰状が手渡される瞬間を心待ちにしています。

あきる野色豊かな馬術競技場

下代継の秋川高等学校跡地に建設された特設馬術競技場には、あきる野百景にも選定されているメタセコイア並木があります。高さ30mにもなる並木の見事な景観は、リハーサル大会に参加した選手からも思い出に残る競技場だと評判も良く、来場する皆さんも、会場の入口から競技場まで続く並木を楽しみながら、競技を観戦することができます。

障害飛越競技に使われる障害物には、森っこサンちゃんや名産物のとうもろこし、鮎などあきる野市の特色がたくさん描かれています。ぜひ競技場で探してみてください。

問合せ 東京多摩国体 スポーツ祭東京2013 あきる野市実行委員会事務局(国体推進室、532-0223)



夏休み子ども消費生活講座「重曹の力つてすごい!」

「重曹の力つてすごい!」

さしい「重曹」を使った講座を行います。バスボム(入浴剤)作

電子申請 QRコード



りやいろいろな実験を行います。おもしろいおやつ作りもありです。夏休みの自由研究として参加してみませんか。

日時 8月23日(金) 午後1時30分~3時30分

場所 中央公民館

内容 重曹の特性を生かした入浴剤やおもしろいおやつ作り

講師 あきる野市消費生活センター相談員

対象 市内在住・在学の小学4年生・6年生

定員 15人(申込み順)

費用 無料

持ち物 筆記用具、エプロン、三角巾、飲み物

申込み方法 電話で申し込んでください。

申込み・問合せ 観光商工課 観光商工係(直通558・1867)



森林レンジャーがゆく (36)
秋川の見どころ その①

市内を東西に流れる秋川には、実にいろいろな顔(表情)があります。川沿いの散策路を調査で歩くと、本当にたくさんの生き物に出会うことができます。それだけではなく、河原にはいろいろな種類の石があったり、源流部には小さいながらも風情のある滝があったりと、興味をそそる出会いが数多くあります。今回は秋川下流域の見どころを紹介します。

秋川下流域(特に秋川と多摩川の合流付近)の魅力は、水辺に集まる鳥の種類が多さです。季節によって水辺を利用する鳥の種類は変化しますし、同じ種類の鳥でもいろいろな行動・仕草を観察できます。例えばサギの仲間は、水辺に片足立ちで静止したまま微動だにせず魚を狙う個体がいったり、翼を広げて優雅に空を旋回する個体がいったりと、1羽1羽動きに個性が現われ、観察していても面白く感じられます。また、姿はなかなか確認できないのですが、葦原の中から大音量で「ギョギョギョ、ギョギョチ、ギョギョチ、ギョギョチ」とさえずるオオヨシキリの鳴き声は、散策路を歩く人の耳を楽しませ季節の訪れを教えてください。このように多くの鳥類が集まるエリアなので、バードウォッチングをする人たちにも知られ渡り、秋川下流域は野鳥好きの人には欠かせない場所になっています。

他にお勧めする下流域の魅力は、上流から水の力で河原に運ばれたさまざまな種類の石です。ぶつけ合うとすぐに割れてしまう砂岩や泥岩、茶色くて硬いチャート、白くてもろい石灰岩など石にもいろいろな種類があり、少し違いが分かってくると石を見ながらの河原歩きは飽きることがありません。あまり見たことのない色、模様の石を見つけるとつい手に取ってじっくり観察してしまいます。特に真っ黒い石があるとずっしりと重いマンガン鉄ではないかと期待してしまいます。(佐々木)



川の上を飛ぶダイサギ